



特集1

水害・土砂災害に備えて情報提供や土砂災害警戒区域等の指定を進めています

特集2

・都立公園ガイドアプリ「Tokyo Parks Navi」で楽しもう!
・「あったらいいな」をみんなでつくる公園プロジェクト 武蔵国分寺公園「てのわ市」



水害・土砂災害に備えて情報提供や土砂災害警戒区域等の指定を進めています

1 降雨情報、河川水位情報、河川監視カメラの映像をリアルタイムに発信しています

東京都では、都内に設置している、雨量計、河川水位計の観測情報(※1)及び河川監視カメラの映像(5分単位の静止画像)をインターネットでリアルタイムに情報提供しています。

(※1)アクセス方法 建設局ホームページの「降雨・河川水位情報」からご覧になれます。

パソコン・スマートフォンの場合
<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/>
携帯の場合
<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/k/>
Twitterアカウント名
@tokyo_suibo (東京都水防Twitter)
Twitter URL https://twitter.com/tokyo_suibo

QRコード (スマートフォン)

QRコード (携帯)

QRコード (Twitter)

3 土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定を進めています

東京都建設局では、「土砂災害防止法」(※3)に基づき、都内全域に約15,000か所と想定される土砂災害が発生するおそれがある箇所を調査し、速やかに公表するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を進めており、平成31年度末の指定完了を目指しています。平成30年3月15日現在、土砂災害警戒区域12,341か所、土砂災害特別警戒区域9,447か所を指定しています。

これらの土砂災害防止法に基づく取り組み状況については、建設局のホームページからご覧になれます。

http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/river/dosha_saigai/map/dosha_r.html

(※3)正式名称：土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

警戒区域では

警戒避難体制の整備
土砂災害から生命及び身体を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られます。【区市町村】

特別警戒区域ではさらに

特定の開発行為に対する許可制
住宅の宅地分譲や宅配業者利用施設の建築のための開発行為は、基準に従ったものに限り許可されます。【都道府県】

建築物の構造規制
居室を有する建築物は、作用すると想定される衝撃等に対して建築物の構造が安全かどうか建築確認がされます。【建築主事を置く地方公共団体】

建築物の移転勧告
著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。【都道府県】

2 水害や土砂災害に関わる防災情報を発表しています

◆氾濫危険情報

東京都では、大雨による洪水の危険度が高い河川を「洪水予報河川(8河川)」、水位周知河川(7河川)」に指定しています。詳細については、建設局ホームページをご覧ください。(※2)

これらの河川が溢れる恐れがある場合に、氾濫危険情報を発表します。

氾濫危険情報が発表されたら、2階などの高い場所へ避難してください。特に、地下施設は水が流れ込む恐れもありますので、十分警戒してください。

◆土砂災害警戒情報

大雨により、土石流やがけ崩れの危険性が高まったと判断したときに発表します。土砂災害警戒情報が発表されたら、早めの避難を心掛けてください。

(※2) 洪水予報河川・水位周知河川について：
http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/river/chusho_seibi/index/menu10.html

4 みなさんも、できることから行動しましょう

日頃からの備え

- 過去の水害記録や浸水予想区域図(※4)により、お住まいの地域が水害に対してどの程度危険なのか、あらかじめ調べておきましょう。
- 地域の避難場所や避難経路を確認しておきましょう。
- 食料や飲料水、懐中電灯や携帯ラジオなどの非常用品や、避難時に持ち出す貴重品をまとめておきましょう。
- 家族との連絡手段を決めておきましょう。

雨が降り出したら

- テレビやインターネット・携帯端末などで最新の気象や災害に関する情報を確認してください。東京都では避難判断に直結する情報をツイッターにより情報発信しています。(※1)
- 周囲の状況に注意し、普段と異なる状況に気がついた場合には、直ちに安全な場所へ避難してください。

(※4)建設局のホームページからご覧になれます。

過去の水害記録：http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/river/suishin/suigai_kiroku/kako.html
浸水予想区域図：http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/river/chusho_seibi/index/menu02.html

問い合わせ先

(防災情報発表に関すること)	河川部防災課	TEL:03-5320-5164
(過去の浸水被害に関すること)	河川部計画課	TEL:03-5320-5425
(浸水予想区域図に関すること)	河川部計画課	TEL:03-5320-5414
(土砂災害防止法に関すること)	河川部計画課	TEL:03-5320-5429



ピコロコのより良い環境を求めて

葛西臨海水族園 飼育展示係 遠藤周太

「世界の海」エリア「チリ沿岸」水槽では世界最大級のフジツボの仲間のピコロコを展示しています。ピコロコは大きな熊手のような腕を広げて、水中に漂うプランクトンを捕らえて食べるプランクトンフィーダーです。大きくなると350mlの飲料缶ほどに成長するのですが、水槽で大きく成長させるのは難しい生き物でもあります。

ピコロコは、チリ沿岸のエサがたくさんある、とても豊かな海に生息しています。ピコロコを上手に飼育するにはこの海を再現することが一番なのですが、水槽では難しい課題があります。水槽ではピコロコに水中に漂うエサを与えていますが、大半が「濾過槽」という水をきれいにするところで濾過されてしまうため、十分にエサを食べることが難しいのです。また、たくさんエサを入れると濾過槽で処理しきれなくなり、水を汚す原因にもなります。そのため、水槽では自然下よりもエサの量が減ってしまい、大きく成長させるのは難しい状態でした。

そこで、今年の3月にエサがすぐに濾過槽へ流れてしまう従来の設備を、水の一部が濾過槽だけで循環して水槽にエサが長い間留まるシステムに改修しました。

このシステムが完成したことで、ピコロコをより上手に飼育できるだけでなく、今まで飼育が難しく展示ができなかった他の様々なプランクトンフィーダーの生き物も、今後展示ができるようになるかもしれません。

動物園の“かお” 多摩動物公園 タスマニアデビル

2017年11月にオーストラリアのタスマニアから多摩動物公園にやって来たタスマニアデビルの「ティマー」と「ダーウエント」(ともにオス)です。ぜひ会いに来てください。

